



2018-19年度ガバナー
村井 總一郎



例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30
事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402
例会場 TEL 052-253-7821/FAX 052-253-7820
ホテルナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121
〒451-8551 名古屋市中区樋の口町3番19号

2018-19年度RIテーマ
RI会長 パリー・ラン

第43回例会 2018年9月6日(木)

司会進行 鈴木達央 会場運営委員
「君が代」斉唱、「奉仕の理想」唱和

会長挨拶 奥村 与幸 会長



皆さん、こんにちは。本日は、国際ロータリー2760地区2018-19年度 ガバナー村井總一郎(むらい そういちろう)様、地区幹事 佐々木利政(ささき としまさ)様にお越しいただきました。ようこそ、宮の杜ロータリークラブへお越しいただき、有難うございます。会員一同を代表して、心から歓迎いたします。

このお写真は、今年度のガバナー月信7月号の表紙を飾ったお写真です。ロータリークラブ発祥のエバンストンの街で、奥様とご一緒に撮られた写真です。年輪を重ねたご夫妻の素敵な写真でしたので、あえて使わせて頂きました。

そして、村井ガバナーをご紹介いたします。こちらが、いつも拝見するお写真ですね。ガバナーのご経歴・公職などは、後ほど鈴木幹事からご紹介申し上げますが、私からも簡単にご紹介させていただきます。

お生まれは、1951年11月28日、所属クラブは、豊橋ロータリークラブで、職業分類は、種こうじ製造業、お役職は、株式会社ビオック 代表取締役会長でいらっしゃいます。

そして、1991年に(株)糺屋三左衛門の第28代ご当主を継承されてお見えになります。

私もこれまで様々な職業の方とお目にかかる機会に恵まれてきましたが、ご当主をお勤めの方にお目にかかるのは二人目でしたので、(株)糺屋三左衛門のホームページを拝見しました。時間もありませんので、詳細は省略しますが、創業は室町時代の京都であり、穀類問屋・札差業を生業(なりわい)とされ、足利將軍家から許可証を拝受された長い歴史を重ねられた旧家(きゅうか)でいらっしゃいます。会社のホームページには、詳しく記載されていますので、ご興味のある方はご覧になると良いと思います。

さて、2018-19年度村井ガバナーの地区活動方針です。詳しくは、後ほどご本人からご教授頂けますので、簡単にご紹介すると、「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」そして、ロータリーの奉仕の理念を学び、奉仕を实践しようであります。

また、冒頭に今の日本のロータリー活動の在り方について考える必要が出てきたとも述べられています。この点についてのお考えも、後ほど拝聴できるのでは、と思っております。

この活動方針を掲げられた理由としては、まずは例会で奉仕の理念を学び、その実践を私たち自身が活動している身近な街などでしっかりと行い、ロータリーの活動を広げたいことの意味が込められた、とのこと。そして、分区内交流を図る必要性についても述べられています。

最後に、7月号のガバナー月信では、ガバナー月信を読む読者が少なく活用されていないことを憂いてみえます。皆さん、ガバナー月信を読みましょう。

以上で、村井ガバナーをご紹介申し上げ、本日の会長挨拶といたします。ご清聴有難うございました。

出席報告		浅野慎之 出席委員長	
	会員数	出席数	出席率
当日(9/6)	45	29	64.4%
前回(8/16)	45	33	73.3%
出席報告		浅野慎之 出席委員長	
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(8/2)	45	45	100.0%



ニコボックス報告 浅野慎之 出席委員長

国際ロータリー2760地区
ガバナー 村井總一郎様、地区幹事 佐々木利政様

今日は長女ななみの誕生日です。 牧野敬充

先日のIDM、とても有意義で永田さんのお店も最高でした。台風21号の影響で停電になり、ご不便、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

皆様は被害など大丈夫でしたでしょうか？ 大谷まさみ

地震に台風、亡くなられた方々に心より

お悔やみ申し上げます。 横田成人

村井ガバナーをお迎えして!!

今日はよろしくお願ひ致します。 鈴木拓将

村井ガバナー、佐々木地区幹事をお迎えして!!

浅野信 出口茂 堀場和孝 河合秀紀

増田盛英 水野紀孝 奥村与幸 大口弘和

ニコボックス報告 浅野慎之 出席委員長

酒井俊皓 佐野洋一郎 鈴木達央 高木勝
高木俊郎 遠山堯郎 田中吉彦

R情報委員会より報告 不破直行 R情報委員

～「ロータリーの友」おすすめページ～

【P13～14】「子ども食堂」について



記載されているグラフを見ると子どもの相対的貧困率が約15～16%であり、クラス30～35人だとすると5～6人が食費にでさえ困っているという状況であります。そこで最近、子ども食堂というものができ、P13には名古屋名東RC様が支援しているとあります。月1回開催され、貧困の子どもたちは無料、大人は300円などとし、誰でも自由に行けるようになっております。この場がきっかけとなり地域との交流ができ、発展や絆が生まれ居場所の確立ができています。当クラブもこのような活動ができればおもしろいのではないかと思います、紹介させて頂きました。

R財団委員会より報告 下村孝爾R財団委員長



先日メールにて9/7に上映スタートした「プレスしあわせの呼吸」についてお知らせしております。財団への寄附をする前に現状どのような状況かをご理解頂く為、9/17(月)@ミッドランドスクエアにて映画鑑賞会を企画しております。多くの方と一緒に鑑賞ができればと思いますので、ご都合よろしい方は是非ご参加頂ければ幸いです。

社会奉仕委員会より報告 野村治 社会奉仕委員長



本日はWFFについてご案内致します。当クラブは国際奉仕・社会奉仕委員会合同でWFFについて尽力していければと思っております。10/27(土)・28(日)@久屋大通公園にて開催されます。一人でも多くの会員に参加して頂けるよう、各委員会で時間配分し、担当時間に西三河中分区ブースへ集まって頂こうと考えております。担当時間は各委員長と相談し、ご報告致します。当日ブースへお越し頂いた方からチケット2枚お渡しいたします。先に受け取りたい方はまたご相談頂ければと存じます。チケットは2,000円の内400円が寄附される仕組みになっております。どうか多くの皆様に参加して頂けるようお願い申し上げます。

幹事報告 鈴木拓将 幹事



- 本日配布物、「エンドポリオナイト」についてですが、WFF1日目夜に開催されます。興味のある方は事務局までお問い合わせください。
- 本日の配布物「希望の風奨学金」について、ニコボックスより50,000円(1,000円/人+α)寄附致します。
- 地区大会についてですが、11/10(土)13:00～17:00の青少年フォーラム、11(日)10:00～16:00本会議が@蒲郡市民会館にて開催されます。他クラブの活動内容などを勉強できる機会にもなっております。また、前日から蒲郡へ行き、クラブ内の企画で1泊研修会も行います。すでに出欠回答をして頂いた方が大半ですが、今一度ご検討お願い致します。
- 本日より例会の時間スケジュールを若干変更しております。今までは点鐘後10分間食事時間を設けておりましたが、委員会活動が活発になり報告事項などが増えてきた為、点鐘後にすぐ歌を歌い、報告へと移るようになりました。
- 本日例会前に会長幹事懇談会を開催致しました。
- 次回例会は9/20(木)12:20～13:30 @ホテルナゴヤキャッスル3階「萩の間」例会後、3階「梅の間」にて第3回定例理事会を行います。

国際ロータリー2760地区 村井總一郎氏より講話



過分なご紹介を賜りましたガバナーの村井總一郎でございます。

まず始めに、本日点鐘で使用した鐘はロータリー創立100年の鐘でございます。8キロ程あります。2760地区に頂いたもので、地区内全てのロータリークラブ名が記載されております。当年度と次年度まではこのように持ち運び、各クラブ例会にて使用するようになっております。

本日は例会前に会長幹事懇談会にて貴クラブの実態を伺いました。非常に快活に若い人中心に楽しく活動されており嬉しく思います。

本日の話はお手元に資料をもとに順番にお話していきます。

当年度のRI会長テーマは「BE THE INSPIRATION～インスピレーションになろう～」であります。分かりづらいですよ。ね。看護師さんになろう、パイロットになろう、正直になろうというのは分かりますが、インスピレーションになろうと言っても、インスピレーションとはなんだろうかとなります。これをバリー・ラシン氏が掲げました。バリー・ラシン氏は本来RI会長になる方ではありません。アフリカのウガンダ出身サム F. オオリ氏がRI会長になる予定でしたが、病気になるお亡くなりになってしまいました。バリー・ラシン氏がRI会長になることが決まって数か月しかない中でこのような素晴らしいテーマを考えられました。テーマのロゴは波が書かれており、カリブの海を、オレンジ部分は太陽を表しているそうです。情熱的な中米を表しているように思えます。

昨年度は神野氏がガバナーをオーストラリア出身のイアン・ライズリー氏がRI会長になりました。オーストラリアは砂漠が多いことから一人1本の植樹をしようと仰せでした。緑の多いこの日本では少し苦労されたかと思いますが、桜街道に桜の木を増やしたり、豊田、岡崎でも緑を増やす運動をされておりました。イアン・ライズリー氏のテーマは「ロータリー:変化をもたらす」でした。これが当年度のテーマと結びついておられます。一番大切なことは前向きな変化を生み出し、私たちがインスピレーションとなる必要があるのですということであります。イアン・ライズリー氏は「ロータリーは国際、地域社会に変化をもたらすことができる組織」だと仰せでした。そして当年度のバリー・ラシン氏はその為に皆さんが、クラブがインスピレーションにならなくてはと仰せです。うまくつながっていると思います。やはり、RI会長も長期ビジョンをもって、ロータリーをどういう方向性にしていくか、昨年度の意思を継いで方針を掲げているのではないかと思います。ここで考えて頂きたいのは、インスピレーションを感じるのではなく、“なる”のです。ここが大きな違いだと思います。インスピレーションになってロータリーで何ができるかを示してくださいと仰せです。

資料4番、「変化をもたらすインパクトのある活動を通じてロータリーが地域社会の「インスピレーション」となることを願っています。」とあります。バリー・ラシン氏は“地域社会で”と仰せです。基本的には地域社会が活性化しないとロータリーは変化しないと考えておられます。「ロータリーでは何がインスピレーションとなるか、つまり、何が刺激となり、前進の活力となるかは、人によって違います」とあります。“つまり”という言葉がある為、インスピレーション＝刺激、前進の活力と捉えていいのだと思います。

資料5番、「Inspirationはinspireの名詞形、inspireは鼓舞する・刺激する・激励する・発奮させる＝前進する活力となる」とあります。今は鼓舞するという言葉などあまり耳にしなないと思います。やる気を起こさせたり、心を盛り上げらすことを指します。Inspirationの前にtheがあるため、インスピレーションする人(こと)と訳すことができます。「Be the Rotarian, who (動詞) the inspiration. =(インスピレーション)を(〇〇する)人になろう」と解釈しました。“(〇〇する)人”という部分は各クラブの会長に色々とお話を伺っております。例えば、インスピレーションを“与える”、インスピレーションを“伝える”、インスピレーションを“感じさせる”人になろうということになります。インスピレーションとは一瞬のことです。本日、奥村会長がお迎えにきてくださり、会った瞬間に「おっ！なんだかオーラのある人だな」と感じたこと、これをインスピレーションと言います。佐々木地区幹事とは30年の付き合いですが、何回会っても、会うたびに違うインスピレーションを与えられます。インスピレーションというものは感じるものなので、学ぶものではありません。インスピレーション訓練講座など聞いたことがあります。その人、その人がどう感じるということでもあります。インスピレーションは第六感やひらめきだと思っていたという声もあります。それでいいと思います。ただ、ここでは前進する活力と言われている為、そのように捉えて頂ければと思います。

まとめます。ここでいうインスピレーションとは、感じるのではなく感じさせる側であり、受け手でなく送り手です。皆さん

鐘の音を聴いた側はインスピレーションを受けた側です。皆さんがこの鐘になるということでもあります。発信する側です。貴クラブがチーンと音が広がっていくように、皆さんの活動を広げてインスピレーションになろうということでもあります。山登りをしているとき、疲れて岩場に腰かけているとき、一陣の風がスーッと通っていき、「ああもう少し頑張ろう」と思います。その一陣の風がインスピレーションであります。これはガバナー月信のロータリーパッチワークにも「インスピレーションになるということは風になることである。」と書いてあります。

インスピレーションを送る側になるう、では、どこで送るのか、それはあなたの街で送りましょうということ、私の活動方針へつながってまいります。「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」という方針、資料7番へ移ります。蒲郡で地区大会が開催されます。たくさんの方が来て下さるそうです。ありがとうございます。蒲郡の街でロータリーを！蒲郡の街からロータリーを！ということで行いたいと思います。蒲郡ロータリークラブさんへホストクラブを依頼しました。蒲郡ロータリークラブさんへは是非蒲郡で開催してくださいと言いました。ロータリーとは地域社会で活動してこそ本当のロータリーだと思えます。まずは近いところでロータリーという存在を認めて、近いところで仲間を見つけて行いましょう。

その他にも先ほど紹介された「プレス～しあわせの呼吸～」について、私は9/15に鑑賞する予定です。ポリオという難病にかかった方の実話です。是非皆さんも見頂ければと思います。

また、WFFについてですが、WFFでポリオの撲滅をと私は思っております。WFFの1日目終了後にエンド・ポリオ・ナイトというものが開催されます。ジュディ・オング氏を招いて行います。もう少しでなくなります。皆で頑張ってください。

「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」ということは、社会奉仕を指しているのか？という質問を頂きます。そうではございません。ロータリーは個人で行う奉仕活動と団体で行う奉仕活動と2つあります。個人で行う奉仕活動の中に職業奉仕がありますが、あなたの事業所がある地域で職業奉仕をすればあなたの事業所でロータリーができ、あなたの事業所からロータリーが発信される為、方針へ結びつくこととなります。

会長から日本のロータリーと世界のロータリーはどこが乖離しているのかという質問を頂きました。日本のロータリーは職業奉仕を中心に発展してきました。関東大震災の起きた時、世界中のロータリアンから莫大な義捐金が届きました。それまでの日本のロータリーは財界の職業人が集まって食事をするのみでした。しかし、これを機に「ロータリーとはすごいとこだ！本当のロータリーを学ばなければ。」ということに勉強し始めました。その当時、アメリカで一番主流だったアーサー・フレデリック・シェルドン氏の職業奉仕理論を学びました。それが日本の経済人にとってとてもいいものでありました。近江商人の三方よしという法則などがいい例です。日本の中小企業、中堅企業が伸びていくにあたり、“お客様の為に、顧客第一主義、顧客のサービス業”などという経営理念が広がっていきました。ロータリーへおいで！ロータリーへ来るといういろいろ学べるよ！職業奉仕をやるう！と会員を増やしていきました。日本のロータリーが発展していく為に、職業奉仕理論というものではなくてはならないものでした。したがって、個人の事業を、奉仕を大切にしていくことが今のロータリーには根深く残っております。ところが、世界はこういったことで仲間を増やしてきたわけではありません。日本人は、ロータリーは職業人と専門職と地域のリーダーが集まり、世界平和と国際親善を願って人道的奉仕をする為に高潔性を上げて、世界的に結びつく団体だ、職業人の集まりだと理屈を述べ会員を誘います。外国人はロータリーに入ろうよ！今度おいで！と言います。そこでポリオについて話したり、ごみを拾ったり、横断歩道で交通整理をしたり、色んな活動を行います。“Join us！”です。「一緒にやろう、体験しよう、接しよう」と言ってロータリーを実際に見てもらいます。一緒にやります。「だから言ったでしょ、気持ちいいでしょ！ロータリーとはどの団体よりもいいことをしているでしょ！世界で一番集まってくる団体になるのだ！」と差別化などどうでもよく、ロータリーがこうあれば

いいと思う人を集めます。このような違いから少しずつ乖離してきております。では、我々は何をすべきかということから、私は「ロータリーの奉仕の理念を学び、奉仕の実践をしよう」というサブテーマを掲げました。ただ集まり、ボランティア活動をして、汗をかいて、“よかった、いいことしたね”と言って、そこでロータリーの奉仕活動が終わっていいわけではありません。そこで奉仕するだけでなく奉仕の理念を学びましょう。ただし、理念を学ぶだけでなく奉仕の実践をすることが重要です。“入りて学び、出でて奉仕せよ”の“入りて学び”ばかりでなく、卓話を聞いてご飯だけ食べて出ていく会員が増えてきております。そうではなく、実際に汗をかくことが大切です。今後の日本ロータリアンがしていかななくてはならないことは学ぶことと、実践することを並立させることです。職業奉仕が大切だから個人の事業で奉仕していればいいのだということは、やらないことの言い訳でしかないと思えないこともないと思います。実際に社会に役に立つ奉仕をしてこそ、初めて奉仕活動をしたこととなります。「奉仕の理念とは、『思いやりの心』『共生』」とあります。あなたがしてほしいことを相手にもすることです。これはキリスト教、ユダヤ教、仏教など色んな教にあります。共に生きて、共に感じることも思いやりです。これがうまいかかないことには「あなたの幸せが私の幸せ、あなたの喜びが私の喜び」にならないこととなります。一緒に感じ、一緒に価値観を持ち、一緒に喜びを持つということ。そして「小さな親切、大きなお世話」という言葉があります。災害時、水、紙おむつが一番ほしいのに、送って来るのは乾パンと毛布だったりします。7月に毛布が届いても困ります。「あなたの幸せが私の幸せ、あなたの喜びが私の喜び」になるような活動をするのがロータリアンではないでしょうか。

ではロータリーはそれだけでいいのでしょうか。四つのテストがあります。倫理観を養うことであります。ロータリーというのはそこに倫理感が絡まってきます。倫理観を訴えている奉仕団体というのはめずらしいです。ロータリーから四つのテストを失くしては何も残らないと思います。

思いやりだけでは不十分です。実践すること、手を差し伸べるということが重要です。思いやりの中で思うだけであります。思いやりをもつということは、心で思ったことを行動に移して初めて完結します。奉仕の理念を学び、実践するというのは最後の手を差し伸べるところまでを申しております。ロータリーは運動です。皆さんが実際に行った奉仕の心を広めていくことがロータリーの目的です。他の団体は奉仕活動したら終わります。ロータリーはリーダー、集まった仲間が他にも伝えていけるような心を持った人を増やしていこうという運動です。ロータリーはひとつの奉仕活動運動も行っています。

では、この奉仕の心を学ぶのはどこでしょうか。例会であります。face-to-faceです。ロータリーはポール・ハリス氏を中心に4人の仲間が集まり始めました。集いから始めました。ロータリーソングの奉仕の理想にも“集いし友よ”とあるように、集うことを大切にしなければなりません。現場に来て上の方の指示に従うだけでなく、集いをして仲間を作るのです。その為に親睦は欠かせません。親睦と親睦活動は違います。ロータリーの親睦活動はゴルフやカラオケをするだけでなく、そこから奉仕をする仲間を増やし、奉仕する心を共有化することを指します。その為の例会です。自分の仕事をして職業奉仕をしているから例会を休んでいいというわけではありません。例会に出て初めて、ロータリーの仲間になり、友となれるわけです。皆さんが集まるから例会ができるのです。例会があるから皆さんが出席する義務があるというわけではありません。集いがある、そこで親睦を深め、心を養おうというのが例会の本来の目的です。したがって、ロータリーの例会というのはやはり楽しくあるべきです。行くのがつらいような例会ではいけません。特に貴クラブは月に2回なので、大切にしてください。ここへ来て、奉仕する仲間づくり、奉仕する心を養ってください。“eat and run”という言葉があります。ご飯を食べてすぐに帰ってしまうという意味です。そうではなく、色々な仲間を増やし色々な話をするのが大切なのではないかと私は思います。

資料10番について、「他国の花を愛で、自国の花の良さを知る、これ観光。」とあります。他クラブへ行きましょう。自クラブだけを見て、これがロータリーの全てだと思わず、色々なクラブへ行き、例会のやり方や奉仕活動、奉仕の仲間づくりという方法を学んできてもらえれば本当にいいロータリーができてくると思います。北海道の方が沖縄へ行き、赤いハイビスカスを見て、「いいなあ、情熱的で」と思い、北海道へ戻って一面に広がるラベンダー畑を眺めて「やっぱり北海道もいいな！」というような体感を味わっててください。他クラブには他クラブの良さがあります。悪いところではなく良いところを見つけて取り入れてください。その為には寛容の精神が必要です。寛容の精神とは、自分の気に入らないこと、間違っていると思ふことを黙認することなく、他人の見解や行為に対して、寛大な態度で接して受け入れるということです。間違ったことまでも受け入れるというわけではなく、間違っていると思ふことは、間違っていない？と話し合いをしたらいいのです。それが友愛の精神です。その友愛の精神も親睦活動から生まれます。親睦活動がしっかりとできてなければ、相手は不快に思います。そこに寛容の精神は養われません。

資料12番はクラブの多様性、個人の多様性についてです。このクラブはどのようなクラブでしょうか。多忙な若者も参加できる元気なクラブでしょうか。会員は色々な方がみえます。そういった多様性をもって貴クラブが成り立っていると思います。私は2760地区に似たようなクラブばかりあってもしょうがないと思います。皆が皆、伝統を重んじて、どのクラブも同じようなことをするクラブばかりが集まっても意味がないと思います。花壇の色は色々な色があつてこそ綺麗なのではないのでしょうか。色々な違う花、色々なクラブがあるからこそ楽しいのではないかと思います。入会をして、いいクラブへ入った、大変なクラブに入ってしまったと思うのはそのクラブ次第であります。思いやりをもって、声をかけあつて、親睦で仲間を増やしていってください。

皆さんの姿勢、活動がこれからのロータリーにとって前進する活力、ひらめき、インスピレーションとなることを願います。今日からインスピレーションになってくださいと結びまして、私の卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



村井總一郎ガバナー、佐々木利政地区幹事 お越いただき誠にありがとうございました。

次回例会【第45回通常例会】

日 時： 10月4日(木) 12時20分～13時30分
 会 場： ホテルナゴヤキャッスル3階「松竹の間」
 卓 話： 「米山記念奨学事業について」
 卓 話 者： 地区米山記念奨学副委員長 青山 稔 氏
 例会後： 第4回定例理事会

発行日：2018年9月20日(木)